



「NPO 法人あい・友農園－青木村」新たなスタート

第4回定時総会にて、会員の皆様にご報告しましたが、2011年10月1日より、「NPO 法人あい・友農園－青木村」の運営管理業務を(株)エフ・イー・シーに委託いたしました。(株)エフ・イー・シーは、あい・友の樋口武英副理事長が代表取締役社長を務める(株)東洋技研の子会社として発足しました。代表取締役社長は、あい・友の会員でもある樋口武司氏が就任いたしました。あい・友が培ってきた野菜づくりのノウハウを生かし、アグリビジネスに取り組み、障がい者、高齢者の方の安定した職場の創出を目指します。

・ご挨拶 (株)エフ・イー・シー 代表取締役社長 樋口武司

NPO 法人あい・友に参加し、活動して参りましたが、このたび、NPO 法人あい・友より『NPO 法人あい・友農園－青木村』の運営管理の委託を受け、平成23年10月1日をもって(株)エフ・イー・シーとして発足致しました。事業コンセプトとして、「社会事業(ソーシャル・ビジネス)」を掲げ、障がい者と高

齢者の組み合わせにより、雇用の場を提供し、社会に貢献しながら高品質の野菜栽培を通じ、ビジネスにつなげてゆくことを基本に進めて参ります。

今後、NPO 法人あい・友と共に相互協力、補完しながら、夢の実現に向けて歩んでゆく所存でございます。

す。皆様の温かいご支援、ご協力をどうぞ、よろしくお願い致します。



▲自然豊かな青木村にある「NPO 法人あい・友農園－青木村」

・(株)エフ・イー・シーが目指すもの



日本の農業・食料関連産業は、GDP(505兆円)の1割を担う分野で、その内、農林漁業は13%(7.5兆円)となっています。我が国の農業は全国的に高齢化が進み、後継者

問題や離農の動きにより地域の過疎化が激しくなり、留まることを知らない状態にあります。

このような環境の下、(株)エフ・イー・シーは、グループの強みを活かし、諸課題を見極めながら、単に規模の拡大を追うのではなく、障がい者支援や高齢者に雇用の場の提供を通じて、地元オピニオンリーダー企業として社会貢献を念頭に着実な運営を目指

し、アグリビジネスの事業化に取り組むことを目指します。

将来的には、ハウス工場の全国展開を視野に100ヶ所程度の規模を考えています。これによりFECグループ企業の地域社会への貢献が出来るものと考えています。



▲農園内で育つ新鮮なサンチュ

「NPO 法人あい・友農園－青木村」新体制へ

2011年10月11日、長野県小県郡青木村殿戸の殿戸コミュニティーセンターにて、関係者をお招きし、(株)エフ・イー・シーの発足式が開催されました。ここで、あい・友農園の新たなスタートが発表されました。

当日は、青木村役場の関係者、ハウスのオーナー、出荷先様、障がい者施設責任者、ハウスの作業スタッフとNPO法人あい・友の理事長、副理事長、その他関係者が集合しました。



初めにあい・友の前田久美子理事長が今回の事業運営移管の経緯について説明を行いました。引き続いて、樋口武英副理事長より新会社設立の経緯と経営の考え方につき詳細の説明があり、その後、新会社の樋口武司社長より新会社の運営について具体的な話がありました。

最近、ハウス農園や植物工場は全国的にたくさん増えてきましたが、事業として大変厳しい状況にあります。今まではNPOという立ち位置

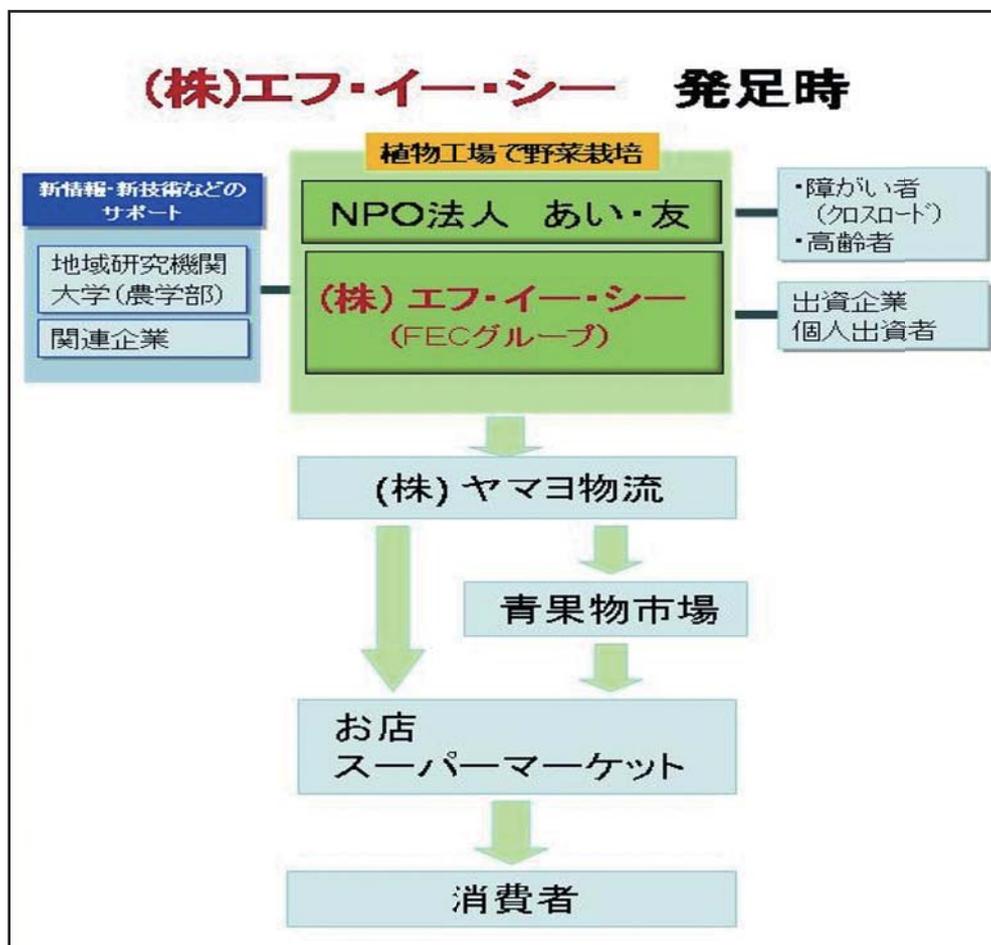
で、あい・友が運営してきましたが、これからはこれを事業として成り立たせる努力と工夫が必要となってきます。樋口武司社長は、これは並大抵のことではなく、何としてもやり遂げたいと決意



▲猿渡農園長(左)と(株)エフ・イー・シー 樋口武司社長(右)

を述べました。

この会社の基本理念には『社会(貢献)事業』が掲げられています。この理念は、NPOの活動と同じ考えです。「人にやさしい野菜の栽培を通じて、障がい者雇用、高齢者雇用の場を提供し、食の安全、安心を満たす高品質野菜の栽培を行い、社会に貢献することを目指す」という方針が発表されました。これはあい・友が目指す方針と同じであり、今後は共に協力していきます。今後、関係者の皆様のさらなるご協力をお願いいたします。



事務局だより

今回、ニュースレター第7号は、特別号として発行させていただきました。総会後の、あい・友農園の新たなスタートを取り上げました。今まで築いてきたノウハウと地元の方々との「絆」を土台に、今後は、社会(貢献)事業としてのアグリビジネスに取り組みます。あい・友としては、引き続き、(株)エフ・イー・シーとの協力関係のもと、あい・友農園の活動に携わっていきます。これから「サンチュ」にとっては厳しい、寒い冬の訪れです。皆様の暖かいご協力のもと、厳しい冬を乗り切れればと思っております。